

「日本学術会議の新会員推薦 6 名の内閣総理大臣による否認」に関する会長声明文

2020 年 10 月 5 日

日本社会福祉学会会長 木原活信

既に報道にありますように、日本学術会議の新会員推薦者のうち 6 名の方々が内閣総理大臣によって任命が否認されました。

日本学術会議は、2004 年に改正された日本学術会議法によって学術会議内部の選考委員会で会員を決定し、内閣府に推薦して内閣総理大臣が任命することになっています。10 月 1 日が任命式でしたが、突然の任命拒否ということは報道された通りです。

そもそも日本学術会議は政府に学術の立場から政策提言を行う独立した組織として活動してきました。そして、「科学者全体の総意」にもとづく組織としての性格を担っています。

今回の内閣総理大臣による推薦者の「否認」は、科学者の総意にもとづく組織の会員を政治が否認するという前代未聞のことであり、学問の自由を否定することになります。

日本社会福祉学会としては、このような事態を憂慮します。そして梶田隆章日本学術会議会長が表明されている「任命されていない方を任命していただくことを要望する」ことに賛同し、それを支持したいと思います。また梶田会長が要望されておられるとおり、法律に基づいて拒否されるのならその説明責任は政府の側にあり、その説明を強く求めます。